

## 第24回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成27年8月3日（月） 県庁4階大会議室		
委員  (委員数：5) (出席数：5)	委員長 中村和之（富山大学経済学部長） 委員 伊藤始（富山県立大学工学部准教授） 委員 大石貴之（弁護士） 委員 彼谷環（富山国際大学子ども育成学部教授） 委員 前田陽子（税理士）		
次第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 平成26年度下半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 平成26年度下半期の一位不働入札、落札率100%入札、一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 平成26年度下半期の低入札状況及び指名停止の運用状況等について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	平成26年度下半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：820件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	（事案1）（仮称）富山中央警察署新築工事
	1億円以上	1件	（事案2）小矢部川流域下水道高岡砺波幹線管きょ第16工区工事
	2千万円以上	3件	（事案3）主要地方道小杉婦中線道路総合交付金道路改良その2工事 （事案4）一般国道359号県単独災害防除法面工工事 （事案5）中山間総合整備富山広域地区八尾工区4-5水路ほか工事
指名競争入札		4件	（事案6）主要地方道富山立山公園線道路総合交付金（改築）さく井工工事 （事案7）主要地方道高岡羽咋線道路総合交付金（防災・防雪）勝木原スノーシェッド補修工事 （事案8）主要地方道新湊庄川線道路総合交付金（防災・橋補）雄神橋再塗装第2工区工事 （事案9）基幹農道新川中部二期地区朝日工区消雪設備工事
随意契約		1件	（事案10）上市川第一発電所1号機固定子等更新及び水車発電機修繕工事
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	平成26年度下半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていると判断する。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○事案1の工事について、1者入札であったが、入札参加資格を3者JVとしたこと等の影響はないか。</p> <p>○事案2の管きょ工事について、参加申請業者7者のうち3者が辞退しているが、要因は何か。</p> <p>○事案3の道路改良工事について、低入札価格調査はどのように行っているのか。また、低入札価格調査の調査項目である「経営状況」は、どのように調査し、判断するのか。</p> <p>○事案4の法面工事について、変更契約の理由は何か。</p> <p>○事案5の水路工事について、入札参加者は1者であったが、入札参加可能業者は何者あったのか。</p> <p>○事案8の塗装工事について、2月18日に当初契約が締結されているにも関わらず、2月1日に実施された労務単価変更に伴う変更契約を3月24日に行った理由は何か。</p>	<p>JVの代表構成員となる資格（類似工事の実績等）を満たす業者が県内・県外合わせて21者おり、制約となったとは考えていない。</p> <p>入札参加の意思を示したものの、手持工事や配置技術者との関係を考慮のうえ辞退という判断に至ったものと推察される。</p> <p>低入札案件は、別途調査資料（詳細な積算内訳書等）の提出を求め、個別にヒアリングを行い、契約に適合した履行がなされるか否かを調査している。経営状況については、低入札価格調査資料として提出された決算書等により、自己資本比率や流動比率などの指標を確認している。</p> <p>調査測量や地質調査を行った上で設計及び工事の発注を行ったが、実際の施工に当たり地質等が設計条件と異なることが判明したことから、設計変更を行ったもの。</p> <p>本工事の入札参加条件とした、富山農林振興センター管内の土木一式工事・B等級の業者は、54者であった。</p> <p>当初の設計は1月中に終了していたため、変更前の労務単価での契約となった。業者からの申し出により、変更後の労務単価に基づき契約の変更を行った。</p>